

地域とともにある

勢いのある学校

No. 3 (R2. 5. 25発行) 文責 校長 福田雅也

# 高き志【こころざし】

## ピンチをチャンスに

「9月入学」…今回の新型コロナウイルス感染症対策を進めていく中で、降って湧いたように起こってきた議論です。私たち教育現場の人間にとっては、そんなに簡単な話ではないことは明らかな事柄ですが、安倍首相相までが「前広に検討する」と発言し、文部科学省等で検討が行われているようです。

また、休校の長期化によるICTを活用した授業のオンライン化については、多くの自治体が先進的に取り組んでいることが報道されています。社会全体に視野を広げると、在宅勤務やテレワーク、時差出勤等が推奨され、企業は大きな変革を求められることになっています。

先日行われた、39県の非常事態宣言解除にあたっての首相の記者会見では「新しい生活様式」という言葉が示され、今回の事態に対応する中で行ってきた様々な取組を、「新しい生活様式」として今後も続けていくよう要請がありました。特に、在宅勤務やテレワーク、時差出勤等は、今回の感染症が終息したとしても、社会全体として継続していこうとの提言がありました。

上に書いた事柄、一つ一つについては様々な考え方があり、対応できる状況があるかどうかの問題もありますので、ここで賛否や私見を書くことはしませんが、「変革のチャンス」であることは間違いないようです。世界中で3万人以上、日本でも800人以上の方々が亡くなっているという悲しい非常事態、まさにピンチではありますが、その状況をピンチとしてだけ受け止めるのではなく、何かのチャンスと受け止める考え方は、当然あっていいと思います。これまで当たり前に行ってきたこと、今後もしばらくは続いていくはずだったことをこの機会に見直し、変革した方がよいことは変革していく。これはとても重要なプラス志向の考え方だと思います。

私たち学校やPTAの立場で考えてみるとどうなるでしょうか。「前年度踏襲」…これは学校やPTA行事にありがちな考え方です。その年に役員を引き受けた方々は、まず前年度まで行ってきた行事等を同じようにこなしていくことを考えられると思います。そうであるならば、今の状況は私たち学校、そしてPTAにとっても変革のチャンスと考えることもできるのです。

そこで一つ、私が今考えていることは「運動会の午前中実施」です。昨年度ぐらいから熱中症対策として実施する学校が増えてきたものですが、今回、本校では主に感染拡大防止の視点とともに練習時間減による授業時数確保の視点から導入を考えています。もちろん、運動会はPTAのご協力がないと実施できない行事ですので、今後役員さん方と検討をした後、正式に決定していくこととなりますが、もし、今年実施をしてみて、賛同の声が多いようであれば今後も続けていくことを視野に入れているのです。

また、この状況で通知表をどうするのかという課題が出てきております。現在関係者で検討中ですが、少なくとも今までと同様、各学期末(年3回)にお渡しする、という方法はできそうにありません。この件につきましては、結論が出た時点で保護者の皆様にはお知らせしますが、ここでお伝えしたいのは、この検討の中で、2学期制への移行という考え方も出てきているということです。

大きな事例を2つ紹介しましたが、この他にも検討してみる価値がある事柄はたくさんあると思います。

先日(5月15日)発行された町臨時広報「みふね」によると、今後御船町でも、児童生徒一人に一台のタブレットパソコンを整備していくと明記してありました。詳しいことは分かりませんが、「新型コロナウイルス感染症対策関連情報」と銘打った広報誌なので、この決定も今回の状況がきっかけになっているのだと思います。

正に、社会全体のピンチを学校や子供たちへのチャンスにいただいた、とても嬉しい決定です。